

8 - 1 0 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測

Continuous Observations of Crustal Deformations in and around Intraplate Seismic Gaps

気象研究所

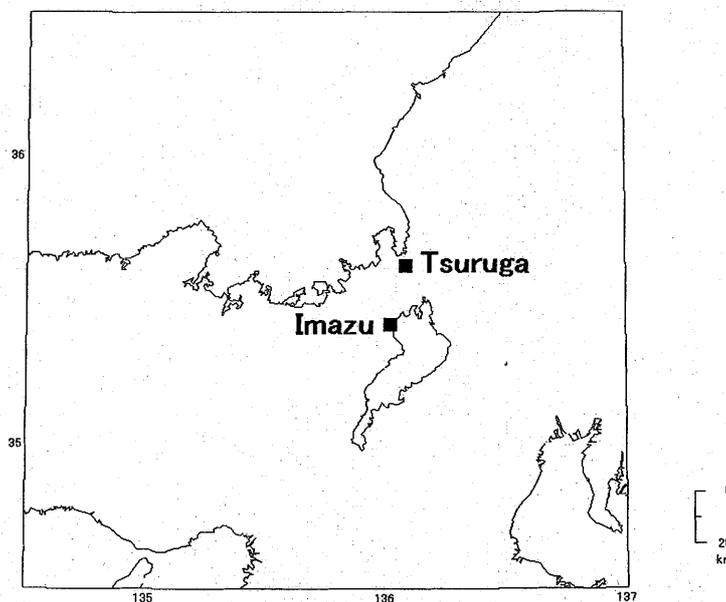
Meteorological Research Institute

気象研究所では、いわゆる「内陸部の地震空白域」の調査研究のため、近畿地方の今津（滋賀県， $35^{\circ}25'18''\text{N}$ ， $136^{\circ}00'52''\text{E}$ ）及び敦賀（ $35^{\circ}37'04''\text{N}$ ， $136^{\circ}04'12''\text{E}$ ）に石井式三成分歪計，傾斜計からなる地殻変動観測施設を設置し（第1図），1996年5月より連続観測を行っている。

第2，3図に今津・敦賀観測点の2001年5月1日～2004年4月30日の3年間，及び2003年11月1日～2004年4月30日の6ヶ月間の観測データ（時間値）をそれぞれ示す。敦賀の傾斜（N52Eup）に2001年9月頃まで変化が見られるが，この原因は不明である。

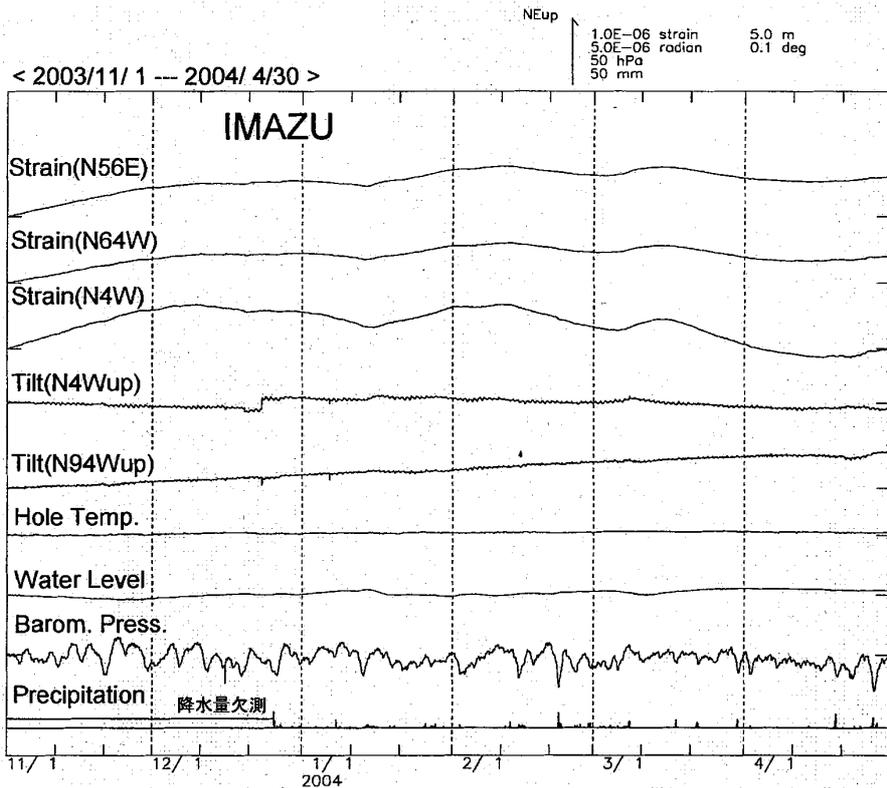
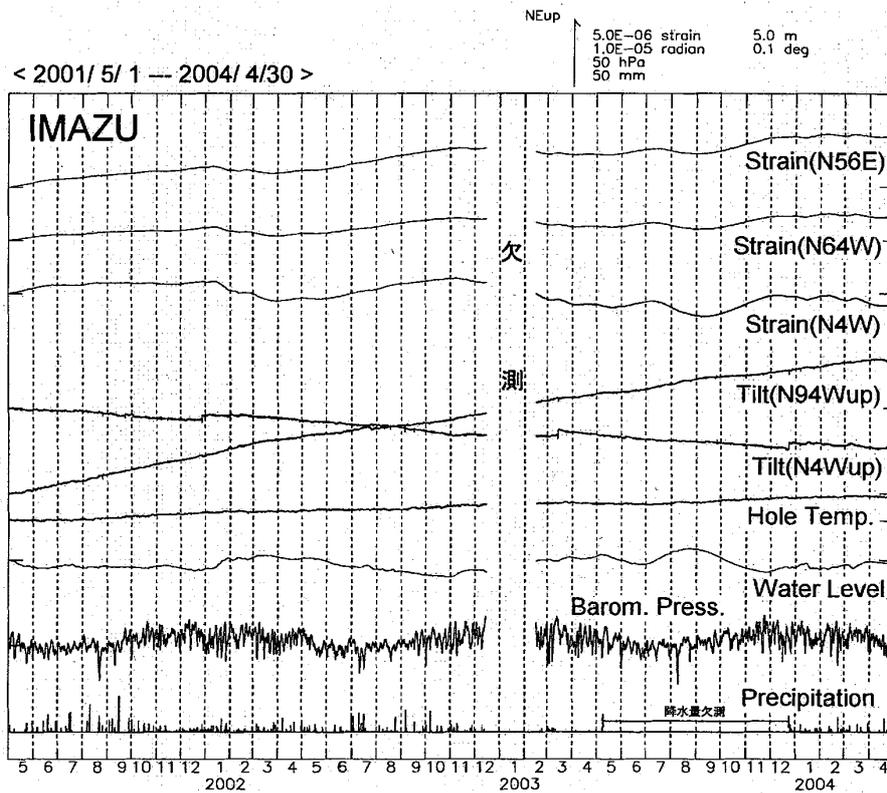
参考文献

- 1) 気象研究所，内陸部の地震空白域における地殻変動観測，連絡会報，57，554-558（1997）。
- 2) 気象研究所，内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測，連絡会報，64，351-354（2000）。
- 3) 気象研究所，内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測，連絡会報，69，445-447（2003）。



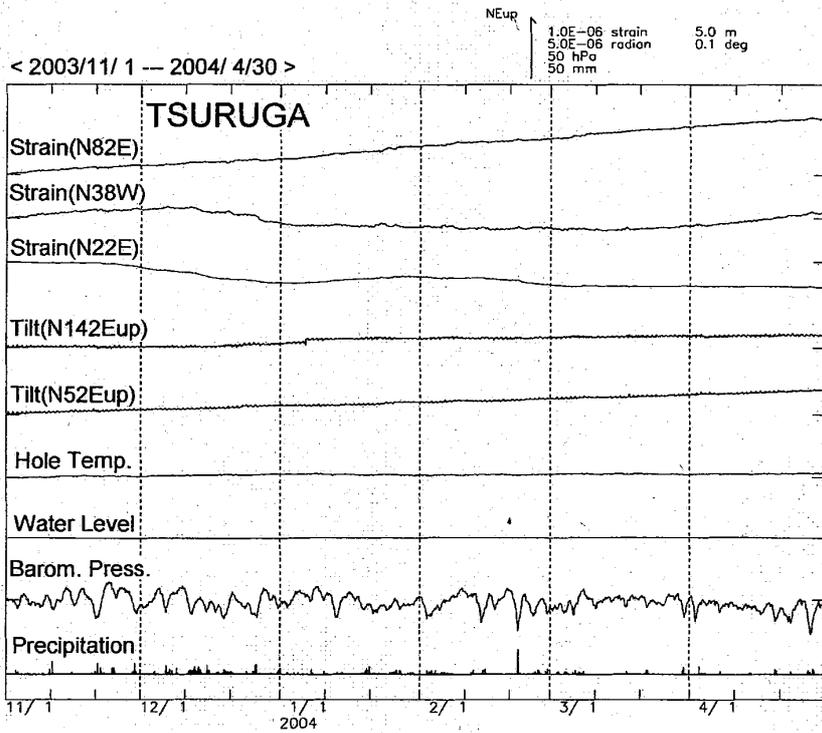
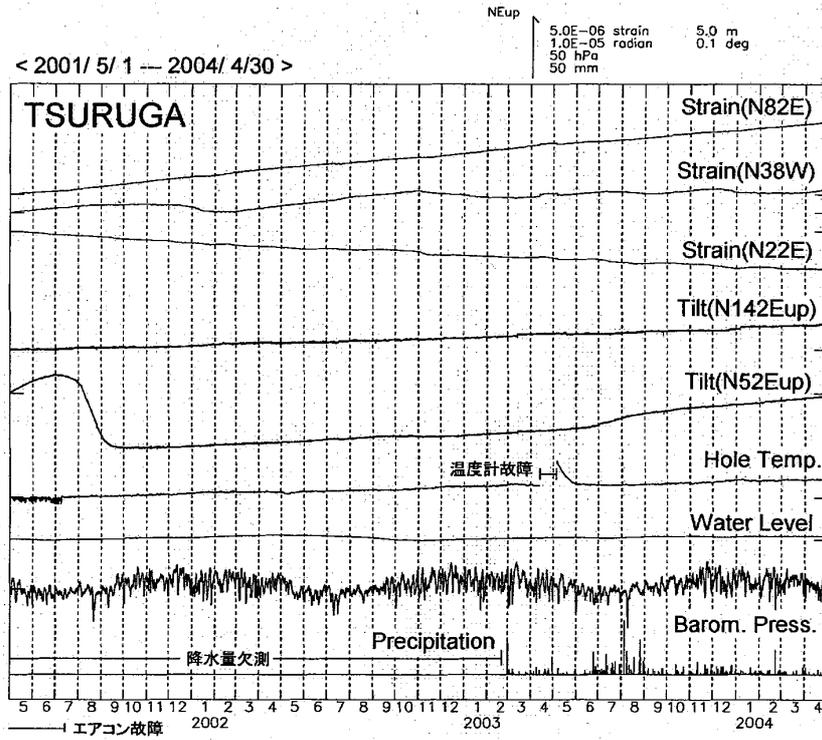
第1図 今津・敦賀観測点の位置

Fig.1 Locations of crustal deformation observation stations (Imazu and Tsuruga).



第 2 図 今津観測点における(上) 2001 年 5 月 ~ 2004 年 4 月, (下)2003 年 11 月 ~ 2004 年 4 月の歪・傾斜変化(時間値)。2002 年 12 月中旬から 2003 年 2 月中旬の欠測は収録装置の故障のため。

Fig.2 (Upper) Changes of crustal strain and tilt at Imazu from May 2001 to Apr., 2004. (Lower) Changes of them from Nov., 2003 to Apr., 2004. Data from the middle of Dec., 2002 to the middle of Feb., 2003 was lost by a trouble of the recording instruments.



第3図 敦賀観測点における(上)2001年5月~2004年4月,(下)2003年11月~2004年4月の歪・傾斜変化(時間値)。2001年9月までの傾斜(N52Eup)変化の原因は不明。2003年4月中旬から5月上旬の歪変化は温度計故障のため。

Fig.3 (Upper) Changes of crustal strain and tilt at Tsuruga from May 2001 to Apr., 2004. (Lower) Changes of them from Nov., 2003 to Apr., 2004. The cause of the tilt change (N52Eup), which continued till Sep., 2001, is unknown. Step-like strain changes between the middle of Apr., and the beginning of May 2003 were caused by a trouble of the thermometer.